

令和4年度 学校運営評価

本校は、教育理念に謳っているように、生命の尊厳といつくしみの心を基盤とした人間性を育み社会に貢献できる看護師の育成をめざしています。教育・管理運営の質の維持と向上を図るために、本校は、自己点検及び評価を毎年行い、評価結果を本校のホームページにて公表しています。

令和4年度 学校運営評価結果

評価項目	I.学校経営	II.教育課程・教育活動	III.入学・卒業対策	IV.学生生活への支援	V.運営管理・財政	VI.施設設備	VII.教職員の育成	VIII.広報・地域活動
令和4年度	3.21	3.66	3.77	3.39	3.543	3.77	3.26	3.35

※評価基準は、3点を標準としています。



カテゴリー	主な項目 (要約)	平均値
I 学校経営	教育理念や教育目的を指針として、年度初めに組織目標を挙げ評価している。①看護師国家試験 100%合格への支援及び就職活動支援、②学校の広報活動の継続と学生の定員確保、③新カリキュラムの円滑な運用と学習環境の整備の3つを挙げ取り組んだ。チーム力を活用し、年度の課題を基に学校方針を明確にし取り組んでいきたい。	3.21
2 教育課程・教育活動	授業に関しては、各教員が授業評価（学生の反応、アンケート、試験等）をもとに、より効果的な授業内容や教授方法の工夫に努めている。令和5年度も引き続き、新旧カリキュラムが並列しての実施となるため、円滑なカリキュラム運営をしていきたい。また、新カリキュラムのICT基礎的能力習得に向け、様々なICT機器が導入される年度となるため、効果的に授業に導入していけるよう整備を進めていきたい。	3.66

III 入学・卒業対策	入学志願者の確保に向けて広報活動（高校訪問や電子媒体の活用等）や、オープンキャンパスを、感染対策を行いながら実施し、入試の応募者数の確保につなげた。引き続きより質の高い学生確保に向けて対策を講じていきたい。国家試験対策では学生個々の状況に合わせて丁寧な学習支援を行っていったが、100%合格とはならなかった。次年度は全員合格を目指して取り組んでいきたい。就職率は100%(市内への就職率48.1%、県東部地区への就職率92.5%)を達成した。卒業生への継続支援としては、自己学習のための図書室の継続利用等の案内をしている。	3.77
IV 学生生活への支援	新型コロナウイルス感染対策を講じ、校内で感染拡大に至ることはなく学校生活を継続することができた。年次の学習・生活担当の教員を中心に学習・精神面での支援が丁寧に行われている。また専任のカウンセラーも配置し、必要に応じて学生が相談できる環境を整えた。サークル活動への支援については学校としての方針を考慮しながら自己点検評価表の見直しも検討していきたい。	3.39
V 管理運営・財政	財政は予算に応じ優先度をふまえて管理されている。昨年まで総合防災訓練はコロナ禍により縮小しての実施であったが、感染対策を講じつつ通常通りの訓練を実施した。通学時の自転車事故防止に向けて交通安全教室を実施したが、通学中の自転車運転マナーについて継続して指導していく必要がある。年2回実施している学生満足度調査での意見の中に教員の関わり方への意見があり、改善に向け対応した。	3.543
VI 施設・設備	演習室や図書室、ゼミ室等は学生の学習活動のために活用されている。新型コロナウイルス感染対策に伴い遠隔授業や視聴覚教材の使用をする機会があったが、通信環境や機材の不備がみられ、随時対応した。ICT 推進に向けた環境整備に具体的に取り組んでいく。	3.77
VII 教職員の育成	教員の資質向上に向けた講演会や各教員の専門性を研鑽するための学会・研修会への参加は、状況によりハイブリッド参加（オンライン・会場参加の選択）により継続した。新カリキュラム運営に向けて、学会・研修参加や授業の成果等を教員間で共有し勉強会に取り組んだ。	3.26
VIII 広報・地域活動	ホームページのタイムリーな更新に向けて取り組んだ。今後も学校の更なる周知を目的とし広報活動に取り組んでいく。今年度学生祭では、感染対策を講じながら学習発表や模擬店など一般公開を行い地域住民との交流を図ることができた。また、3年次学生による「熱中症予防に向けた講習会」を市のクリーンセンターの方々を対象に実施した。	3.35